

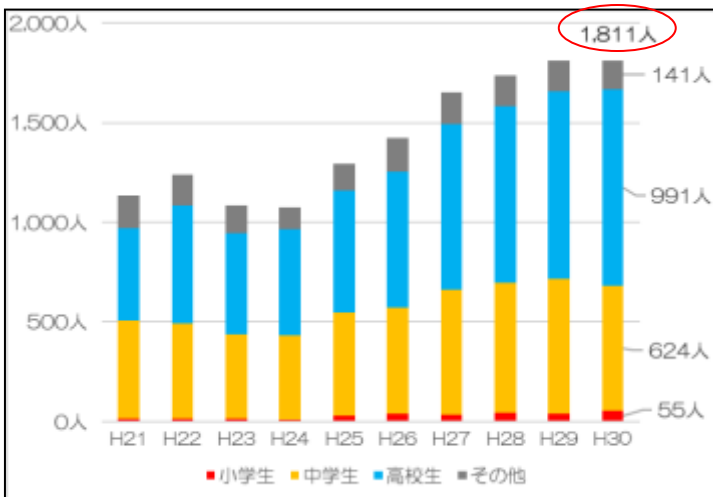
SNSをきっかけとした犯罪被害が多発 ～子どもたちを守るために“大人”ができること～

大阪市の小学6年女児誘拐事件など、SNSをきっかけに子どもが事件に巻き込まれるケースが相次いでいます。

警察庁の統計によると、昨年1年間にSNSをきっかけに犯罪被害に遭った18歳未満の子どもは 1,811人 で、過去最多だった前年から横ばいで推移し、H24年の約1.7倍となっています。

また、重要犯罪は前年より30人増加し91人で、そのうち略取誘拐は42人と倍増しています。近年は小学生の被害が増えており、昨年は前年より14人増の55人で過去最多、中学生は624人、高校生は991人でした。

同じく警察庁の統計によると、被害に遭った子どもたちが使っていたSNSは「ツイッター」が約4割を占めています。



SNS をきっかけに犯罪被害に遭った 18 歳未満の子ども
※警察庁の統計から

子どもたちを守るために、有害情報の閲覧を制限するフィルタリングは有効な手段となります。しかし、警察庁の統計では、SNSをきっかけに犯罪被害に遭った子どもたちのうち、約9割はフィルタリングを利用していなかったことも分かっています。

一方、SNS が家庭や学校に居場所のない寂しい子どもたちの「逃げ場」になっており、そのため SNS 上の見知らぬ大人にだまされ、犯罪被害に遭うケースも見られます。例えば右の写真のように、SNS 上には「#家出少女」、「#神待ち」（＝食事や寝る場所などを提供してくれる人（＝“神”）待ち）といったハッシュタグ※が多く書き込まれています。

※SNS で投稿内のタグとして使われるハッシュマーク「#（半角のシャープ）」がついたキーワードのことで、SNS 上でハッシュタグを検索することにより、関連する投稿をまとめて検索、閲覧が可能になる

フィルタリング機能の利用とともに、私たち“大人”が、子どもたちがスマホやネットで何をしているかを知り、子どもたちの悩みや苦しみに気づき、普段から相談しやすい関係を作ることが、子どもたちを守るために大切なことかもしれません。



SNSで「#家出少女」を検索
（写真は加工しています）

<参考>・警察庁「STOP！子供の性被害」統計資料 https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no_cp/measures/statistics.html

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎0776-20-0745（直通） メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp